

泌尿器科

■GIO :

専門領域としての泌尿器科疾患の診断治療を通して、医師として医療判断・手技の論理性、患者に対する責任感を習慣づけ、一般診療から泌尿器科専門診療への橋渡しが行えるように知識と経験を積む。

■SBOs :

1. 患者から得た情報と知識を基に、論理性・客観性を持って記述し提示する。
2. 担当・担当外を問わずニーズを察知した患者に対し、積極的に情報を収集。問題解決を提言または実行する。
3. 頻度の高い泌尿器科疾患の症状や検査、評価、治療法を理解する。
4. 患者の泌尿器科問題点を抽出し、尿路確保など程度が軽く頻度の高いものについては、適切に判断・処置が出来る。
5. 患者の泌尿器科問題点で、専門性が高いものについて、適切な表現を用いて泌尿器科専門医に相談でき、同専門医からの指示を適切に理解し、一部実行できる。
6. 専門的な泌尿器科治療を要する状態を判断でき、適切に泌尿器科専門医に紹介できる。

■LS :

1. 診療録を閲覧し、またカンファレンスに参加し、泌尿器科疾患及び用語、専門的な対処について、理解する。
2. 泌尿器科入院患者を担当し、臨床情報の収集、関連する文献の理解し、必要な検査、適切な診断、予後を判断。
治療の選択肢とそれぞれの優劣、個々の患者の状態に合わせたそれらの修飾を論理的に行ない、治療プランの検討をする。
3. 全ての医療行為に対し、事前又は事後に指導医に報告し、情報の不足や判断の論理性の指導を受ける。
4. 一般診療において比較的頻度が高い泌尿器科的手技を指導医の基で行う。
5. 専門性の高い処置や検査・手術などを補助する。
6. 学会や研究会に参加し、より広く泌尿器科の一般的考え方を理解する。

【週間予定表】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	手術	外来	手術	外来	手術	病理カンファレンス
午後	ESWL、回診	検査処置、回診	手術、回診、症例検討会	検査処置、回診	手術、回診	回診、抄読会、研究会、学会

■Ev :

泌尿器科研修中

1. カンファレンスや個々の報告時に行う指導医からの質問に適切に答えら得るか？
2. カルテの記載や症例の提示において、過不足なくまた論理性が一貫しているか？
3. 処置などにおける医療補助に際し、遅滞なく適切な補助が出来るか？
4. 基本的な手技を安全かつスムーズに行うことが出来るか？
5. 専門用語を交えた議論を正確に理解しているか？
6. 看護師など他の医療スタッフの評価はどうか？

泌尿器科研修終了時

1. 研修医は上記に鑑み、自己評価を行い、経験した手技などとあわせて EPOC に入力。
2. 指導医はその後、評価を同様に入力する。
3. 任せることの出来る泌尿器科的処置について、補助評価表に記入。